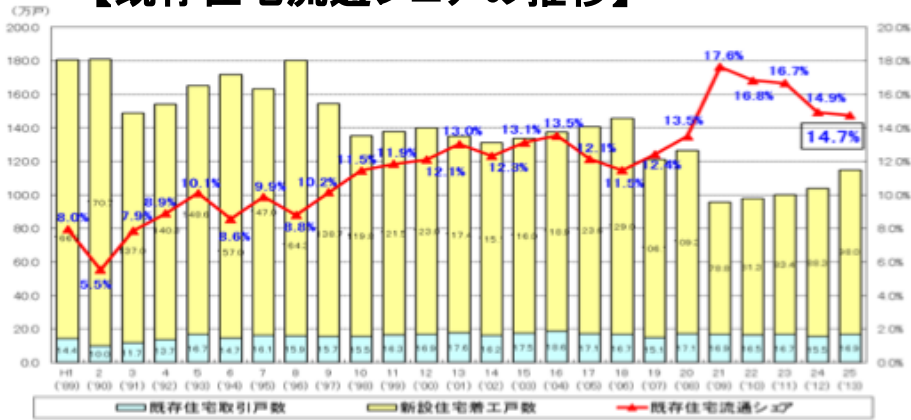
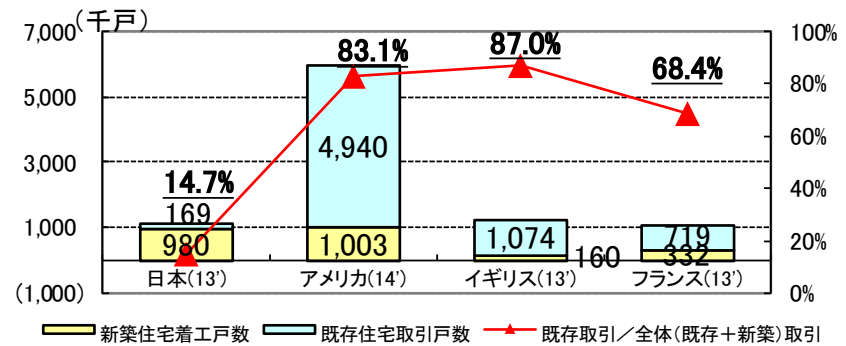


【既存住宅流通シェアの推移】



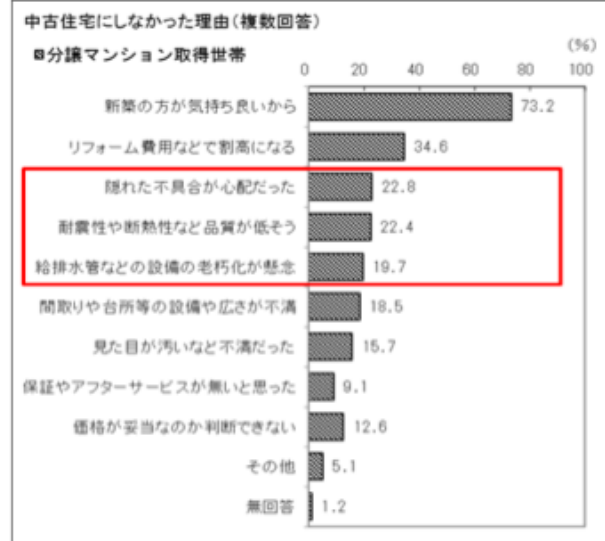
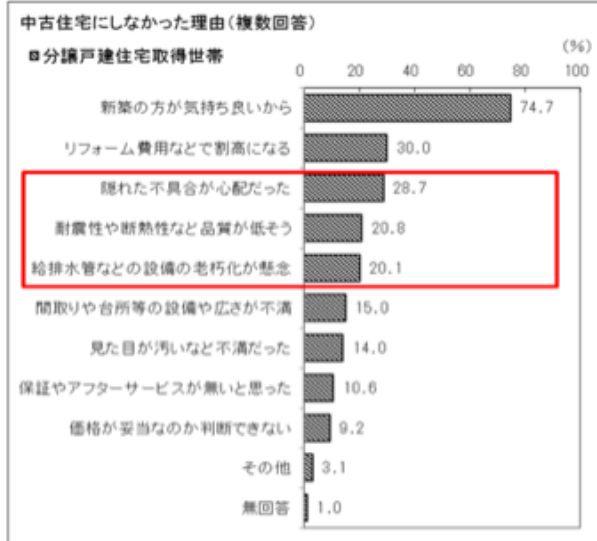
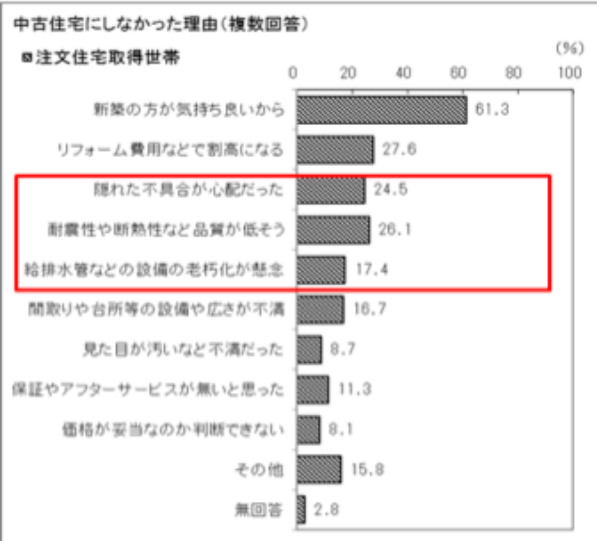
出典：住宅・土地統計調査（総務省）、住宅着工統計（国土交通省）
 （注）平成5（1993）年、平成10（1998）年、平成15（2003）年、平成20（2008）年、平成25（2013）年の既存住宅流通量は1～9月分を過年に換算したものの。

【既存住宅流通シェアの国際比較】



（資料）日本：総務省「平成25年住宅・土地統計調査」、国土交通省「住宅着工統計（平成26年計）」。
 アメリカ：U.S.Census Bureau「New Residential Construction」,「National Association of REALTORS」(データは2014年)
<http://www.census.gov/> <http://www.realtor.org/> イギリス：Department for Communities and Local Government「Housing Statistics」(データは2013年) (<http://www.communities.gov.uk/>) フランス：Ministère de l'Écologie, du Développement durable et de l'Énergie「Service de l'Observation et des Statistiques」/「Conseil général de l'environnement et du développement」(データは2013年) <http://www.driea.ile-defrance.developpement-durable.gouv.fr>
 注1) フランス：年間既存住宅流通量として、毎月の既存住宅流通量の年換算値の年間平均値を採用した。
 注2) イギリス：住宅取引戸数は取引額4万ポンド以上のもの。これにより、データ元である調査機関のHMRC(英国歳入関稅庁)は、全体のうちの12%が調査対象から漏れると推計している。

【住宅購入時に既存住宅を選択しなかった理由】



（資料）平成26年度住宅市場動向調査（国土交通省）